

NEC



Note Standard (NS150, NS100)

ユーザーズマニュアル

USER'S
MANUAL

目次

このマニュアルの表記について	2
ご注意	5
商標について	5
【第1章】 このパソコンについて	7
アプリを起動する	7
トラブルを予防するには	7
大切なデータの控えを取っておく(バックアップの方法)	9
おてがるバックアップを使ってバックアップを取る(NS150のみ)	9
その他のバックアップ方法について	12
【第2章】 再セットアップ	13
この章の操作をおこなう前に	13
再セットアップについて	13
再セットアップする	14
再セットアップメディアを作成する	18
回復ドライブを作成する	22
再セットアップメディアを使って再セットアップする	23
回復ドライブを使って初期状態に戻す	26
【第3章】 トラブル解決Q&A	28
トラブル解決への道	28
パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき	29
Windowsを強制的に終了する	29
ウイルスの感染が疑われるとき	30
Q&A	31
パソコンの様子がおかしい	31
マウス(添付モデルのみ)、キーボード、NXパッド、 タッチパネル(タッチパネルモデルのみ)がおかしいとき	33
電源/バッテリーのトラブルがおきたとき	36
使用中に画面に何も表示されなくなったとき	39
メッセージが表示されたとき	40
パスワードのトラブルがおきたとき	40
その他のトラブル	41
付録	43
パソコンのお手入れ	43

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

 注意	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。
---	--

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。
---	---------------------------

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

 とくに重要	してはいけないことや、必ずしていただきたいこと、とくに大切な注意を説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、人が傷害を負ったり、費用が必要になったりする可能性があります。また、作ったデータの消失、使用しているアプリの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。
 重要	注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。
	パソコンをお使いになる際のヒントやポイントとなる説明です。
 参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
『 』	『 』で囲んである文字は、このマニュアル以外のマニュアル名を指します。
光学ドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)、またはDVDスーパーマルチドライブを指します。
「LAVIEアシスト」	「LAVIEアシスト」を起動し、電子マニュアルの機能を使用して、関連する情報を参照すること示します。
「LAVIEアプリナビ」	アプリを探したり起動できる「LAVIEアプリナビ」を使用して、関連する情報を参照すること示します。
BIOSセットアップ ユーティリティ	BIOSの設定をおこなう画面のことを指します。

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

次の「このパソコンのモデル構成について」をご覧ください。ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。
Windows 10モデル	Windows 10 Homeがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows 10 Proモデル	Windows 10 Proがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Officeモデル	Office Personal PremiumまたはOffice Home & Business Premiumが添付されているモデルのことです。
Office Personal Premiumモデル	Office Personal Premiumが添付されているモデルのことです。
Office Home & Business Premiumモデル	Office Home & Business Premiumが添付されているモデルのことです。
11ac(867Mbps)対応ワイヤレスLAN(ac/a/b/g/n対応)モデル	IEEE802.11ac/a/n(5GHz)、およびIEEE802.11b/g/n(2.4GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。11ac通信の理論上の最大通信速度は867Mbpsです。
11ac(433Mbps)対応ワイヤレスLAN(ac/a/b/g/n対応)モデル	IEEE802.11ac/a/n(5GHz)、およびIEEE802.11b/g/n(2.4GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。11ac通信の理論上の最大通信速度は433Mbpsです。
11ac対応ワイヤレスLAN(ac/a/b/g/n)モデル	11ac(867Mbps)対応ワイヤレスLAN(ac/a/b/g/n対応)モデルまたは11ac(433Mbps)対応ワイヤレスLAN(ac/a/b/g/n対応)モデルのことです。

◆このパソコンのモデル構成について

このパソコンはモデルごとに次のような機能で構成されています。ご購入いただいたモデルにどのような機能があるかを確認ください。

シリーズ名	型名(型番)	表記の区分			
		光学ドライブ	ワイヤレスLAN	OS	添付アプリ
LAVIE Note Standard	NS150/FA□ (PC-NS150FA□)※1	DVDスーパーマルチドライブモデル	11ac(433Mbps)対応ワイヤレスLAN(ac/a/b/g/n対応)モデル	Windows 10モデル	Office Home & Business Premiumモデル
	NS100/F2W (PC-NS100F2W)				
	NS100/F1W (PC-NS100F1W)				Office Personal Premiumモデル

※1:本体の色によって□の中に異なる英数字が入ります。

カラー	型名(型番)
エクストラホワイト	NS150/FAW(PC-NS150FAW)
スターリーブラック	NS150/FAB(PC-NS150FAB)
ルミナスレッド	NS150/FAR(PC-NS150FAR)

◆LAVIE Directシリーズについて

LAVIE Directシリーズの各モデルについては、添付の『LAVIE Directシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

◆本文中の記載について

- ・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
- ・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。また、Windowsやアプリのアップデートにより、画面や手順に変更が入る場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・このマニュアルには、複数のモデルの内容が含まれているため、お使いのモデルによっては、本文中で説明している機能が搭載されていない場合があります。

◆周辺機器について

- ・接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
- ・他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカーにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、Windows 10	Windows 10 Home Windows 10 Pro
Office Personal Premium	Office Personal Premium プラス Office 365 サービス
Office Home & Business Premium	Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス
Outlook、Outlook 2016	Microsoft Outlook 2016
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer® 11
タスク バー	Windows® タスク バー
Windows Update	Windows® Update
ユーザー アカウント制御	Windows® ユーザー アカウント制御
マカフィー リブセーフ	マカフィー® リブセーフ™

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 10 Home、Windows 10 Proおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご利用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

商標について

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Officeロゴ、Outlookは米国Microsoft Corporationおよび/またはその関連会社の商標です。

Intel、Intel CoreとIntelおよびMcAfeeのロゴ、インテル、マカフィー、LiveSafe、リブセーフは、米国およびその他の国におけるIntel CorporationまたはMcAfee, Inc.の登録商標または商標です。

SDXC、SDHC、SD、microSDHC、microSD、ロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Aterm、WARPSTARは、日本電気株式会社の登録商標です。

PCMoverは、米国における米国 Laplink Software 社の登録商標です。

本書中のその他の登録商標及び商標はそれぞれその所有者に帰属します。

©2013 McAfee, Inc. All Rights Reserved.

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

©NEC Personal Computers, Ltd. 2016

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC^{*1} will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC^{*1} does not provide maintenance service or technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Personal Computers, Ltd.

第1章 このパソコンについて

アプリを起動する

LAVIEアプリナビについて

LAVIEアプリナビを使うと、アプリを探したり起動することができます。LAVIEアプリナビは次のようなときに便利です。

- ・ 目的に合ったアプリを探したり、使いかたを見たり、見つけたアプリをそのまますぐに起動する。
- ・ 探したアプリをインストールする。
- ・ 用語集でわからない単語の意味を調べる。

！重要

購入時の状態ではLAVIEアプリナビはインストールされていません。『セットアップマニュアル』の「LAVIEアプリナビを追加する」をご覧ください。「おすすめ設定」から追加してください。

「LAVIEアプリナビ」は、「 (スタート)」-「すべてのアプリ」-「LAVIEアプリナビ」-「LAVIEアプリナビ」をクリックして起動してください。

アプリを起動したいときは、アプリの探しかた(目的から、名前から)を選び、その下欄の「ステップ1」「ステップ2」でアプリを探してください。見つかったら、右欄のボタンで、アプリをインストールしたり、機能を調べたり、起動することができます。

アプリの探しかたを選ぶ



アプリを探す

探したアプリを調べる、インストールする、起動する

※お使いのモデルにより、画面が異なる場合があります。

「LAVIEアプリナビ」の機能や操作方法などの詳細は、「ヘルプ」をクリックして確認することができます。

NS150をお使いの場合、キーボード上部にある「ソフトボタン」を押して起動することもできます。

トラブルを予防するには

適切な場所に設置する

パソコンは人やドアがぶつかりやすいところ、不安定な台の上などに設置しないでください。また、パソコンを電磁波や熱を発生するものの近くに設置しないでください。

定期的に通風孔(排熱孔)を清掃する

通風孔は、定期的にお手入れをしてください。通風孔の清掃については、「付録」の「パソコンのお手入れ」(p.43)をご覧ください。

電源は正しく切る

パソコンの使用中にコンセントから電源コードのプラグを引き抜いたりすると、トラブルの原因になることがあります。正しい電源の切り方について詳しくは、『セットアップマニュアル』の「パソコンの電源を切るときは」をご覧ください。

ウイルス対策をする

ウイルスなどの不正プログラムからパソコンを守るために、ウイルス対策アプリを活用しましょう。このパソコンにはあらかじめ「マカフィー® リブセーフ™」というウイルス対策アプリが用意されています。

マカフィー リブセーフについて  参照 「LAVIEアプリナビ」-「名前からアプリを探す」-「ま行」-「マカフィー リブセーフ」

！重要

パソコンの動きに違和感があるなど、ウイルスの感染が疑われるときは、第3章の「ウイルスの感染が疑われるとき」(p.30)をご覧ください。

パソコンを最新の状態にする

●Windows Updateを使う

Windows Updateは、マイクロソフト社の提供するサポート機能です。インターネット経由でWindowsやマイクロソフト社のアプリを最新の状態に更新したり、問題点を修正できます。また、ウイルスや不正アクセスを防ぐための対策もおこなわれます。

Windows Updateについて  「LAVIEアシスト」-「マニュアル」-「安心・快適に使う」-「パソコンを最新の状態にする方法」-「Windows Updateを使って更新する」

●LAVIEアップデートを使う

LAVIEアップデートは、インターネット経由で、NECが提供する更新プログラムの有無を自動で確認し、新機能の追加や問題点を修正するための更新プログラムのアップデートをおこなうサービスです。重要な更新プログラムがあったときにお知らせします。

LAVIEアップデートについて  「LAVIEアシスト」-「マニュアル」-「安心・快適に使う」-「パソコンを最新の状態にする方法」-「LAVIEアップデートを使って更新する」

●ストアを使って更新する

アプリの更新プログラムは、「ストア」から適用することができます。

万が一のトラブルに備える

パソコンが正常に動作しているときに、あらかじめ準備しておいていただきたいことについて説明しています。

●バックアップを取る(p.9)

Windowsが起動しなくなった場合や大切なデータを誤って消してしまった場合に備えて、データの控え(バックアップ)を取ってください。

●再セットアップメディアを作成する(p.18)

「再セットアップメディア」を使うことで、ハードディスクのデータを削除した場合でも、パソコンを購入時の状態に戻すことや、ハードディスクの再セットアップデータから再セットアップできないときも、再セットアップをおこなうことができます。また、NS150で「おてがるバックアップ」でパソコン全体をバックアップしたデータを復元するには再セットアップメディアが必要です。

ディスクのパーティション変更をおこなう場合

パーティションの変更をおこなう必要がある場合には「パーティション設定ツール」を使用してください。

「コンピュータの管理」から回復パーティションを削除した場合、再セットアップができなくなります。

「パーティション設定ツール」は「LAVIEアプリナビ」から起動できます。

 「LAVIEアプリナビ」-「名前からアプリを探す」-「は行」-「パーティション設定ツール」

大切なデータの控えを取っておく(バックアップの方法)

バックアップの必要性

パソコンが故障したりウイルスに感染した場合やデータを消去してしまった場合に備えて、大切なデータは定期的に控えを取っておきましょう。データの控えを取ることを、「バックアップ」と呼びます。トラブルが起こってデータが消えてしまったときでも、バックアップを使ってデータを復元することができます。

壊れたり消えたりしたデータの復旧サービスもあります(<http://121ware.com/navigate/support/restoration/index.html>)。

一般的なバックアップの保存先(バックアップ先)は、次のとおりです。

- ・ パソコンのハードディスク(CドライブやDドライブ)
- ・ DVD-Rなどの光ディスク
- ・ USB接続の外付けハードディスク
- ・ USBメモリーやメモリーカード

！重要

パソコンのハードディスク(CドライブやDドライブ)をバックアップ先を選ぶと、ハードディスク自体が故障したとき、もとのデータと同時にバックアップを取ったデータまで失われてしまうおそれがあります。重要なデータは、パソコンに内蔵されたハードディスク以外の場所にバックアップを取っておくことをおすすめします。

バックアップを取る時期について

パソコンの使用頻度(データの増え方)によって、バックアップを取るタイミングを調整してください。こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

おてがるバックアップを使ってバックアップを取る(NS150のみ)

NS150には、バックアップを取るためのアプリ「おてがるバックアップ」が搭載されています。複数のバックアップ方法が用意されているので、用途に合わせて使い分けることで、効果的にバックアップをおこなうことができます。

おてがるバックアップの機能

ワンクリック バックアップ

あらかじめ設定されたデータのバックアップを取ります。

●マイ データ

よく使うデータや、自作のデータが通常保存されているフォルダ、インターネットの設定などのバックアップを取ります。

●パソコン全体

トラブルに備えて、正常に動作しているときに内蔵ハードディスク全体のバックアップを取ります。インターネットやメールの設定、自分でインストールしたアプリなど、セットアップ後におこなった設定をそのままバックアップ/復元できます。

どの方法でバックアップすればよいかわからない場合は、「おてがるバックアップ」の「ワンクリック バックアップ」-「マイ データ」をおすすめします。

こだわりバックアップ

自分でバックアップの対象を設定してバックアップを取ります。定期的に自動でバックアップを取ることでもあります。詳しくは「おてがるバックアップ」のヘルプをご覧ください。

バックアップを取る場所について

「おてがるバックアップ」では、バックアップ方法によって、バックアップ先に設定できる場所が異なります。

・バックアップ対象:内蔵ハードディスク

バックアップ方法		ワンクリック バックアップ		こだわりバックアップ	
		マイ データ	パソコン全体	マイ データ	ディスク、またはパーティション
バックアップ先※3	ローカルディスク (お使いのパソコンのハードディスク)	○	×	○	○※1
	USB接続の外付けハードディスク	○	○	○	○
	NAS(ネットワーク接続ストレージ)	×	×	○	×
	USBメモリー	○	×	○	×
	次の光ディスク※2 BD-R/BD-RE/BD-R(2層)/ BD-RE(2層)/BD-R XL(3層)/ BD-RE XL(3層)/DVD-R	○	○	○	○
	次のメモリーカード SDメモリーカード/SDHCメモリー カード/SDXCメモリーカード	○	×	○	×

※1: システムドライブを含む場合は、バックアップ先に設定できません。

※2: お使いの光学ドライブによって、使用できる光ディスクが異なります。

※3: USB外付け機器は必ず機器付属の説明書に書かれた用法を守ってお使いください。

大容量のバックアップをおこなうときは、Dドライブ以外の場所を選んでください。なお、外付けハードディスクをバックアップ先にする場合は、USB接続のハードディスクを使用してください。

「おてがるバックアップ」を使うときの注意

おてがるバックアップをお使いになるときは、次のことに注意してください。

- ・ おてがるバックアップでバックアップを取ったデータは、このパソコンでのみ復元できます。
- ・ バックアップを取ったデータの内容を確認したり、直接編集することはできません。
- ・ バックアップを取るデータの量によって、バックアップにかかる時間が異なります。動画などサイズの大きなデータが含まれる場合はバックアップに時間がかかります。
- ・ 暗号化機能を使用してデータのバックアップを取る場合は、パスワードを控えておいてください。パスワードを忘れると復元できなくなります。
- ・ 定期的にバックアップを取る場合、バックアップの予定時刻には、ほかのアプリを起動しないようにしてください。
- ・ 購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、「ワンクリック バックアップ」-「マイデータ」を使ってバックアップを取ることができません。
著作権が保護されたデータのバックアップについては、購入に使用したアプリのヘルプをご覧ください。
- ・ 複数のパソコンでそれぞれ「おてがるバックアップ」を使って外付けハードディスクにバックアップする場合、それぞれのパソコンごとに別々の外付けハードディスクをご用意ください。
- ・ 「おてがるバックアップ」では、隠しパーティションを指定してバックアップすることはできません。隠しパーティションをバックアップするには、「ワンクリック バックアップ」で「パソコン全体」をバックアップ対象に指定するか、「こだわりバックアップ」の「ディスク、またはパーティション」で「パソコン全体」をバックアップ対象に指定(ご購入時の状態)してください。
- ・ 「パソコン全体」でバックアップしたデータを復元するには、「再セットアップメディア作成ツール」で作成した再セットアップメディアが必要です(p.23)。

「おてがるバックアップ」の使い方

おてがるバックアップを起動する

- 1 「LAVIEアプリナビ」-「名前からアプリを探す」-「あ行」-「おてがるバックアップ」の「アプリを起動」をクリックする

「おてがるバックアップ」が起動します。

！重要

次の画面が表示された場合は、それぞれの画面の説明をよく読み、画面の指示にしたがって操作してください。

- 「エンド ユーザー使用許諾書」
- 「製品の登録」
- 「おてがるバックアップのご紹介」

画面の説明をよく読み、画面の指示にしたがって操作してください。

操作の手順について詳しくはアプリのヘルプをご覧ください。

その他のバックアップ方法について

●手動でバックアップを取る

大切なデータを、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクなどにコピーして保存しておくのも手軽なバックアップの方法です。いざというときは、これらのデータを使ってパソコンの状態をある程度まで復旧させることができます。この作業を定期的におこなえば、より効果的です。

●音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップを取る

音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップまたは退避については、音楽データを購入したアプリのヘルプをご覧ください。

第2章 再セットアップ

この章の操作をおこなう前に

パソコンに問題が起こったときは、次の順番でチェックを試してみてください。問題が解決することがあります。

- ・ ウイルスチェック (p.30)
- ・ システムの復元を試みる (p.13)
- ・ 「おてがるバックアップ」で取ったバックアップで復元する (p.25)*

※NS150をお使いの場合のみ

チェックをおこなっても改善しないときは、「再セットアップ」をすることで問題が解決することがあります。

「再セットアップ」をおこなうと、パソコンが初期状態または購入時の状態に戻り、作成したデータや設定は初期化されます。

システムの復元を試みる

Windowsを構成する基本的なファイルや設定情報を、作成した「復元ポイント」に戻します。

「ドキュメント」フォルダなどに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

再セットアップについて

再セットアップの方法により、再セットアップ後のWindowsの状態が違います。

●購入時の状態に戻す

Windowsの状態を購入時の状態に戻したい場合は、「再セットアップメディア」を作成して「NECリカバリツール」で再セットアップする必要があります。

再セットアップメディアを使って再セットアップする方法については、「再セットアップメディアを使って再セットアップする」(p.23) をご覧ください。

！重要

もしもの場合に備え、ご購入後なるべく早く「再セットアップメディア」を作成することをおすすめします。

●初期状態に戻す

パソコンのハードディスク内に準備された専用のデータを使って、再セットアップすると、Windowsの状態は購入時の状態ではなく、Windowsの更新プログラムが適用された最新の状態になります。

Windowsの機能を使って再セットアップをおこなうので、メディアを作成するなど、特別な準備は必要ありません。手順については「再セットアップする」(p.14) をご覧ください。

！重要

再セットアップ完了後にアプリケーションの再インストールが必要になる場合があります。

再セットアップする

ここでは、パソコンのハードディスク内に準備された専用のデータを使って、パソコンを初期状態に戻す方法を説明しています。

再セットアップの準備をおこなう

！重要 バックアップを取ったデータの確認について
この方法で再セットアップをおこなうと、設定によっては、ハードディスクのデータがすべて失われます。あらかじめバックアップを取っておいてください。

再セットアップの前に、次の操作をおこなってください。

①必要なものを準備する

- ・「Office Personal Premium」または「Office Home & Business Premium」のプロダクトキー（Officeモデルのみ）*
※プロダクトキーは「Office Personal Premium」または「Office Home & Business Premium」のカードに記載されています。
- ・『セットアップマニュアル』
- ・ユーザーズマニュアル（このマニュアル）

そのほか、このパソコンを購入後に自分でインストールしたアプリに必要なCD-ROMなどを準備してください。

②バックアップを取ったデータの確認

再セットアップをおこなうと、パソコンは初期状態に戻ります。

大切なデータや設定は、あらかじめバックアップを取っておいてください。

③初回セットアップで使用した次の情報を控える

- ・ Microsoft アカウントの場合
 - Microsoft アカウントのメールアドレスとパスワード
 - ワイヤレスLANのネットワーク名（SSID）とネットワークセキュリティキー
- ・ ローカル アカウントの場合
 - ユーザー名とパスワード

！重要

- 再セットアップ後にバックアップしたデータを復元する際、ユーザー アカウントが一致しないとデータが復元できなくなります。
- 家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合、それらのユーザー アカウントも一緒に控えておくことをおすすめします。
- ユーザー アカウントを控えるときは、「大文字と小文字の区別」に注意してください。

初回セットアップ時にローカル アカウントでセットアップした後、Microsoft アカウントを取得した場合は、新たに取得したMicrosoft アカウントでセットアップすることもできます。

④インターネットの設定を控える

インターネットの設定も初期化されるため、次の項目を控えてください。プロバイダの会員証に情報が書かれている場合は、会員証を準備してください。

- ・ ユーザーID
- ・ パスワード
- ・ 電子メールアドレス
- ・ メールパスワード
- ・ プライマリDNS
- ・ セカンダリDNS
- ・ メールサーバー
- ・ ニュースサーバー

また、必要に応じてワイヤレスLANの設定を控えてください。

⑤BIOS（バイオス）の設定を初期値に戻す：初期値を変更している場合のみ

BIOS（バイオス）の設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、変更した内容をメモしてから、設定を初期値に戻してください。この作業は、BIOSの設定を変更していない場合は必要ありません。

手順について詳しくは、『セットアップマニュアル』の「困ったときには」の「BIOSの設定を変更後、Windowsが起動しなくなった」をご覧ください。また、ハードディスクを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。

BIOSセットアップユーティリティについて  「LAVIEアシスト」-「マニュアル」-「機能を知る」-「BIOS（バイオス）」-「ハードウェア環境の設定」

⑥ 市販の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外し、『セットアップマニュアル』で取り付けた機器のみ接続している状態にしてください。

光学ドライブやメモリスロットなど各ドライブにもメディアがセットされていないか確認してください。セットされている場合は、すべて取り出してください。

再セットアップする

！重要

- ハードディスクの空き領域が不足していると、再セットアップができない場合があります。「その他のトラブル」の「再セットアップできない」(p.42)をご覧ください。ハードディスクの空き領域を増やしてください。
- 外付けのハードディスクなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。
- 通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。
- 故障の原因となりますので、再セットアップ中は絶対にパソコンの電源を切らないでください。ご利用のモデルや再セットアップで選択するオプション、パソコンの状態などにより、再セットアップにかなり長い時間がかかる場合があります。「このPCを初期状態に戻しています(〇〇%)」と表示された状態が長く続いても故障ではありません。
- 再セットアップの方法によっては、次のようなセキュリティチップ(TPM)のクリアについての確認画面が表示される場合があります。画面の指示にしたがって、セキュリティチップをクリアしてください。なお、この画面が表示されても問題や故障ではありません。

セキュリティチップクリア確認画面の例

※お使いのモデルにより、表示内容は一部異なります。

A configuration change was requested to Clear this computer's TPM (Trusted Platform Module)
 WARNING: Clearing erases information stored on the TPM. You will lose all created keys and access to data encrypted by these keys.
 Press F12 to Clear the TPM
 Press ESC to reject this change request and continue.

この画面例の場合は、[F12]を押すことでセキュリティチップをクリアします。

[Esc]を押してキャンセルすることもできますが、再起動すると、再度この画面が表示される場合がありますので、セキュリティチップをクリアしてください。また、セキュリティチップクリア確認画面が表示されない場合は、セットアップ後にセキュリティチップのクリア(p.17)をおこなうことをおすすめします。

Windowsから再セットアップ画面を起動する

Windowsから再セットアップできないときは、BIOSセットアップユーティリティから再セットアップすることもできます(p.16)。

- 1 パソコン本体にACアダプタを接続する
- 2 「 (スタート)」をクリックする
- 3 「設定」をクリックする
- 4 「更新とセキュリティ」をクリックする
- 5 「回復」をクリックする
- 6 「このPCを初期状態に戻す」の「開始する」をクリックする
- 7 「個人用ファイルを保持する」または「すべて削除する」をクリックする

！重要

- 「個人用ファイルを保持する」を選んだ場合、手順の途中で、削除されるアプリの一覧が表示され、初期状態に戻した後にこの一覧がデスクトップに保存される旨のメッセージが表示されますが、パソコンの状態により、保存されない場合があります。そのため、手順の途中で削除されるアプリの一覧が表示された際に、メモをとっていただくことをおすすめします。
- 「すべて削除する」を選んだ場合、手順の途中で「ドライブのクリーニングも実行しますか？」と表示されたら、「ファイルの削除のみ行う」を選択してください。

「ファイルを削除してドライブのクリーニングを実行する」を選択するとセットアップ完了までに非常に長い時間がかかる場合があります。このオプションは装置の売却・譲渡の際にご活用ください。

8 以降は、画面の指示にしたがって操作する

9 「初期状態に戻す」をクリックする

再セットアップが始まります。

再セットアップが完了後、パソコンが再起動します。

この後は、「再セットアップが完了したら」(p.16)をご覧ください。

BIOSセットアップユーティリティから起動する

通常の状態ではWindowsが動作しないときは、BIOSセットアップユーティリティからも再セットアップの画面を表示することができます。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体にACアダプタを接続する

3 パソコン本体の電源を入れ、電源ランプが点灯したら、BIOSセットアップユーティリティが表示されるまで[F2]を何度も押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

4 【→】、【←】で「Exit」メニューを表示し、【↓】、【↑】で「HDD Recovery」を選んで【Enter】を押す

確認の画面が表示された場合は、「Yes」を選んで【Enter】を押してください。

「キーボードレイアウトの選択」が表示された場合は、「Microsoft IME」をクリックしてください。

5 「オプションの選択」が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリックする

6 「トラブルシューティング」が表示されたら、「このPCを初期状態に戻す」をクリックする

7 「個人用ファイルを保持する」または「すべて削除する」をクリックする

！重要

「すべて削除する」を選んだ場合、手順の途中で「ファイルの削除のみ行う」と「ドライブを完全にクリーンアップする」の選択画面が表示されたら、「ファイルの削除のみ行う」を選択してください。

「ドライブを完全にクリーンアップする」を選択するとセットアップ完了までに非常に長い時間がかかる場合があります。このオプションは装置の売却・譲渡の際にご活用ください。

8 以降は、画面の指示にしたがって操作する

9 「初期状態に戻す」をクリックする

再セットアップが始まります。

再セットアップが完了後、パソコンが再起動します。

この後は、次の「再セットアップが完了したら」をご覧ください。

再セットアップが完了したら

再セットアップが完了したら、『セットアップマニュアル』をご覧ください。セットアップをおこなってください。

セットアップの途中で、アプリのインストール画面が表示されることがあります。セットアップ完了後に自動的に再起動しますので、そのままお待ちください。

その後、次の①～⑥をおこなってください。

！重要

- 「個人用ファイルを保持する」で再セットアップした場合、セットアップの手順が異なります。画面の指示にしたがってください。

- 再セットアップ完了後に、Bluetoothマウスが添付されているモデルで「マウス接続設定」が表示された際に、設定を開始しても、「Bluetooth デバイスの管理」画面が表示されなかったり、途中で画面が表示されなくなる場合があります。その場合は、パソコンを再起動させてから、設定をおこなってください。

- PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターで購入した再セットアップディスクを使った再セットアップについて、詳しくは再セットアップディスクに添付のマニュアルをご覧ください。

① セキュリティチップをクリアする

再セットアップ時に「すべてを削除する」を選択したときや、再セットアップメディアを使用して再セットアップしたときに、セットアップ中にセキュリティチップのクリアをおこなっていない場合は、セキュリティチップのクリアをおこなうことをおすすめします。

！重要

Windows 10 ProのBitLocker ドライブ暗号化を使用していた場合は、BitLocker ドライブ暗号化を無効にしてからセキュリティチップのクリアをおこなってください。

1 「 (スタート)」をクリックし、「電源」-「シャットダウン」をクリックする

パソコンの電源が切れて、電源ランプが消灯します。

2 電源スイッチを押す

3 「 (スタート)」-「すべてのアプリ」をクリックする

4 「Windows システム ツール」-「ファイル名を指定して実行」をクリックする

5 「名前」に「tpm.msc」と入力し、「OK」をクリックする

「コンピューターのトラステッド プラットフォーム モジュール(TPM)の管理」画面が表示されます。

6 メニューの「操作」-「TPMをクリア」をクリックする

7 「再起動」をクリックする

8 再起動後、[F12]を押す確認画面が表示された場合は[F12]を押す

パソコンが再起動します。

9 「コンピューターのトラステッド プラットフォーム モジュール(TPM)の管理」画面を閉じる

これでセキュリティチップのクリアは完了です。

② 「Microsoft Office[®]」のプロダクト キーを入力する(Officeモデルをお使いの場合)

セットアップ後にはじめてMicrosoft Officeを使用するときは、『セットアップマニュアル』の「ご使用時の注意」-「Officeモデルをご購入いただいたお客様へ」をご覧ください。

※ここでは、「Office Personal Premium」または「Office Home & Business Premium」を「Microsoft Office」と呼んでいます。

③ 周辺機器を取り付ける

市販のメモリ、プリンタ、スキャナなどの周辺機器を取り付け、設定しなおします。ご利用の周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

④ 市販のアプリをインストールしなす

パソコンに市販のアプリをインストールしていた場合は、各アプリに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

⑤ バックアップを取ったデータを復元する

DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクなどにコピーしたデータを、パソコンにコピーまたは移動してください。

NS150の「おてがるバックアップ」でバックアップしたデータについては、アプリのヘルプをご覧ください。

音楽データなどの著作権保護されたデータについては、データをバックアップしたアプリなどで復元してください。

！重要

- 複数のユーザーのデータをバックアップしていた場合は、ユーザーごとにデータを復元する必要があります。スタート画面で画面上部のユーザー アカウントをクリックし、切り換えたいアカウント名をクリックして別のユーザーで再度サインインし、ユーザーごとにデータを復元してください。
- 複数のユーザーのデータを復元する場合は、復元するユーザー アカウントがあらかじめ作成されている必要があります。作成していない場合は、控えておいたユーザー アカウントをもとにユーザー アカウントを作成してください。

- 「おてがるバックアップ」について詳しくは、「LAVIE アプリナビ」-「名前からアプリを探す」-「あ行」-「おてがるバックアップ」をご覧ください。

⑥Windowsやウイルス対策アプリなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows Updateやその他のアプリのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策アプリを最新の状態にしてください。詳しくは、「パソコンを最新の状態にする」(p.7) や、各アプリのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

再セットアップメディアを作成する

再セットアップメディアとは

頻繁にエラーやフリーズが発生したり、動作が極端に遅くなるなど、Windowsの状態が良くない場合にパソコンを購入時の状態に戻すことができます。通常は、ハードディスク内に準備されている専用のデータを用いておこないますが、次のような専用のデータが使えない場合に備えて「再セットアップメディア」を作成しておくことをおすすめします。

- ・ハードディスクのデータを消去する場合
- ・Windowsを購入時の状態に戻す場合
- ・Windowsがまったく起動しない場合
- ・「おてがるバックアップ」で「パソコン全体」、「ディスク、またはパーティション」をバックアップしたディスクなどを利用して、ハードディスクを復元する場合(NS150のみ)

再セットアップメディア作成ツールでは、購入時の状態に戻すための再セットアップメディアをDVD-RなどのディスクやUSBメモリーで作成します。万が一のときに備えて、パソコンが正常に動作しているときに、再セットアップメディアを作成しておくことを強くおすすめします。

なお、この再セットアップメディアは1部しか作成できませんので、作成後は大切に保管してください。

- ・再セットアップについて詳しくは、「再セットアップについて」(p.13) をご覧ください。
- ・再セットアップメディアを使ってできる再セットアップについては、「再セットアップメディアを使って再セットアップする」(p.23)をご覧ください。

再セットアップメディア作成後は、ハードディスクの空き領域が増えます。

再セットアップメディア作成の準備

このパソコンに入っている「再セットアップメディア作成ツール」を使って、再セットアップメディアを作成します。

再セットアップメディアの作成には、ディスクの場合2～3時間程度、USBメモリーなどの場合20～30分程度かかります(モデルやその他の条件によって時間は異なります)。

！重要

再セットアップメディアは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。

未使用のディスク(DVD-RやBD-R)またはUSBメモリーを準備する

再セットアップメディアの作成には、DVD-RやBD-R、またはUSBメモリーが必要です。

●ディスクを使う際の注意

※ブルーレイディスク(BD-R)を使用できるのは、ブルーレイディスクドライブモデルのみです。

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。「ディスクで再セットアップメディアを作成する」の手順3(p.20)で画面に表示される枚数を確認してください。作成にはDVD1枚につき最大約100分かかります。

- ・必ず次の容量のディスクを用意してください。
DVD-Rディスクの場合:4.7Gバイトのもの
DVD-R(2層)ディスクの場合:8.5Gバイトのもの
BD-Rディスクの場合:25Gバイトのもの
BD-R(2層)ディスクの場合:50Gバイトのもの
- ・次のディスクは使用できません。
CD-R、DVD+R、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、BD-RE、BD-R XL、BD-RE XL

●USBメモリーを使う際の注意

- ・USBメモリーは、容量が16～32Gバイトのものを、FAT32形式でフォーマットして使用してください。USBメモリーをFAT32形式でフォーマットするには、「121ware.com」に記載の手順(<http://121ware.com/qasearch/1007/app/servlet/relatedqa?QID=017840>)で、「ファイルシステム」の項目で「FAT32」を選択しフォーマットします。
- ・再セットアップメディアを複数のUSBメモリーに分割して書き出すことはできません。

再セットアップメディアの販売について

各機種用の再セットアップメディア(共通再セットアップ用メディア)を販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。

<http://nx-media.ssnet.co.jp/>

市販の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外してください。

作成の手順を始める前に

作成の手順を始める前に次の操作をおこなってください。

- ・スクリーンセーバーが起動しないようにする

次の手順で設定を変更します。

- ①「 (スタート)」-「設定」をクリックする
- ②「パーソナル設定」をクリックする
- ③「ロック画面」をクリックする
- ④「スクリーン セーバー設定」をクリックする
- ⑤「スクリーン セーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリックする

- ・インフォボードをスクリーンセーバーモードで起動しないようにする

ガジェットモード(デスクトップ上の右上にウィンドウ状態で表示されている状態)の場合、次の手順で設定を変更します。

- ①インフォボードの右下にある「 (設定)」をクリックする
- ②「スクリーンセーバー設定」をクリックする
- ③「自動起動を利用する」を「オフ」にする
スクリーンセーバーモード(全画面で表示されている状態)の場合は、インフォボードの右上にある「 (設定)」をクリックして、「起動時間」をクリックするとガジェットモードの設定画面が表示されますので「自動起動を利用する」を「オフ」にしてください。

- ・省電力機能が動作しないようにする

次の手順で設定を変更します。

- ①「 (スタート)」-「設定」をクリックする
- ②「システム」をクリックする
- ③「電源とスリープ」をクリックする
- ④「画面」と「スリープ」で「なし」を選ぶ

- ・起動中のアプリをすべて終了する(ウイルス対策アプリなどを含む)

終了方法は、それぞれのアプリのヘルプなどをご覧ください。

！重要

再セットアップメディアの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、サインアウト、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

再セットアップメディアの作成

！とくに重要

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

！重要

再セットアップメディアは、ディスクやUSBメモリーにかかわらず、1部のみ作成できます。一度作成している場合は、メッセージが表示され、再セットアップメディアを作成できません。

ディスクで再セットアップメディアを作成する

操作の前に、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルを取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

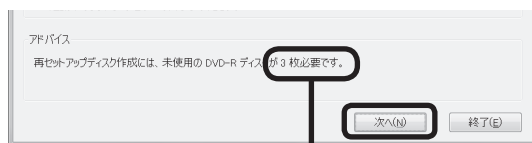
ワイヤレスLAN機能のオフについて  「LAVIEアシスト」-「マニュアル」-「機能を知る」-「ネットワーク」-「ワイヤレスLAN機能のオン/オフ」

1 パソコン本体にACアダプタを接続する

2 「LAVIEアプリナビ」-「名前からアプリを探す」-「さ行」-「再セットアップメディア作成ツール」の「アプリを起動」をクリックする

3 メディアの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリックする

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。



ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

DVD-RやDVD-R(2層)の場合、必要なディスクの枚数が「×～×枚」というように表示される場合があります。最初のディスクを作成した時点で必要な枚数が確定します。

4 設定内容を確認して、「次へ」をクリックする

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で「作成開始ディスク」を選ぶと、途中から作成するように指定することもできます。

！重要

- 「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。光学ドライブと用意したディスクの組み合わせで使用可能な最高速度で書き込みます。
- 書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

5 用意したディスクをセットする

ディスクが認識されるまで10秒程度待ってから次の手順に進んでください。

6 「作成開始」をクリックする

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。

書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

7 「OK」をクリックする

8 ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるように記入する (例:再セットアップディスク 1枚目)

複数枚作成される場合、続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。

作成完了のメッセージが表示されたら、「作成完了」をクリックしてください。

！重要

- 作成した再セットアップメディアは、紛失・破損しないように大切に保管してください。
- 再セットアップメディアを作成したあとは、「再セットアップメディア作成の準備」で変更した設定を元に戻し、停止したアプリを起動しなおしてください。特にウイルス対策アプリは、必ず起動してください。インフォボードのスクリーンセーバー設定を元に戻すには、インフォボードの右下にある「 (設定)」をクリックし、「スクリーンセーバー設定」の「自動起動を利用する」を「オン」にしてください。

USBメモリーで再セットアップメディアを作成する

操作の前に、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルを取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

ワイヤレスLAN機能のオフについて  参照
「LAVIEアシスト」-「マニュアル」-「機能を知る」-「ネットワーク」-「ワイヤレスLAN機能のオン/オフ」

1 パソコン本体にACアダプタを接続する

2 「LAVIEアプリナビ」-「名前からアプリを探す」-「さ行」-「再セットアップメディア作成ツール」の「アプリを起動」をクリックする

3 「USBメモリー」を選んで「次へ」をクリックする

再セットアップメディアの作成に必要なUSBメモリーの容量が表示されます。

4 USBメモリーをセットする

！重要

- 再セットアップメディアを複数のUSBメモリーに分割して書き出すことはできません。
- USBメモリーの中には、実際に使用できる容量が表示サイズ以下場合があります。この場合は、再セットアップメディアを作成することはできません。

5 表示されたメッセージを確認して、「作成開始」をクリックする

この後は画面の指示にしたがって操作してください。作成完了のメッセージが表示されたら、「作成完了」をクリックしてください。

作成が完了したら、USBメモリーを取り外します。

！重要

- 作成した再セットアップメディアは、紛失・破損しないように大切に保管してください。
- 再セットアップメディアを作成したあとは、「再セットアップメディア作成の準備」で変更した設定を元に戻し、停止したアプリを起動しなおしてください。特にウイルス対策アプリは、必ず起動してください。インフォボードのスクリーンセーバー設定を元に戻すには、インフォボードの右下にある「 (設定)」をクリックし、「スクリーンセーバー設定」の「自動起動を利用する」を「オン」にしてください。

回復ドライブを作成する

回復ドライブとは

パソコンを初期状態に戻す場合、通常はハードディスク内に準備されている専用のデータを使っておこなえますが、専用のデータが破損して使用できなくなった場合でも、「回復ドライブ」を作成しておけばパソコンを初期状態に戻すことができます。

また、NECでは「再セットアップメディア」の作成をおすすめしていますが、「再セットアップメディア」は1部しか作成できないため、紛失などに備えて、「回復ドライブ」を作成する方法があります。

回復ドライブは、USBメモリーに作成します。

回復ドライブ作成の準備

回復ドライブの作成には、10～30分程度かかります(モデルやその他の条件によって時間は異なります)。

！重要

回復ドライブは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。

USBメモリーを準備する

- 回復ドライブの作成には、USBメモリーが必要です。USBメモリーは、容量が16～32Gバイトのものを、FAT32形式でフォーマットして使用してください。USBメモリーをFAT32形式でフォーマットするには、「121ware.com」に記載の手順(<http://121ware.com/qasearch/1007/app/servlet/relatedqa?QID=017840>)で、「ファイルシステム」の項目で「FAT32」を選択しフォーマットします。
- 回復ドライブを複数のUSBメモリーに分割して書き出すことはできません。

市販の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外してください。

作成の手順を始める前に

作成の手順を始める前に、「再セットアップメディアを作成する」の「再セットアップメディア作成の準備」-「作成の手順を始める前に」(p.19)の操作をおこなってください。

！重要

回復ドライブの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、サインアウト、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

回復ドライブの作成

！とくに重要

- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

回復ドライブを作成する

操作の前に、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルを取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

ワイヤレスLAN機能のオフについて  参照「LAVIE アシスト」-「マニュアル」-「機能を知る」-「ネットワーク」-「ワイヤレスLAN機能のオン/オフ」

- 1 「 (スタート)」-「すべてのアプリ」をクリックする
- 2 「Windows システム ツール」-「コントロール パネル」をクリックする
- 3 「システムとセキュリティ」をクリックする
- 4 「セキュリティとメンテナンス」をクリックする
- 5 「回復」をクリックする
- 6 「回復ドライブの作成」をクリックする

7 「システム ファイルを回復ドライブにバックアップします。」にチェックがついていることを確認して「次へ」をクリックする

8 「USB フラッシュ ドライブの接続」と表示されたら、USBメモリーをパソコンにセットする

！重要

写真や動画に関するアプリ、「自動再生」画面、「ディスクの書き込み」画面などが表示された場合は、アプリを終了したり、「自動再生」画面や「ディスクの書き込み」画面を閉じてください。

！重要

- 回復ドライブを複数のUSBメモリーに分割して書き出すことはできません。
- 回復ドライブを作成する際は、実際に利用可能な容量が、画面に表示された容量以上のUSBメモリーが必要です。USBメモリーの中には、実際に使用できる容量が表示サイズ以下の場合があります。この場合は、回復ドライブを作成することはできません。

9 「USB フラッシュ ドライブの選択」と表示されたら、セットしたUSBメモリーが選択されていることを確認して、「次へ」をクリックする

10 「回復ドライブの作成」と表示されたら、内容を確認し、「作成」をクリックする

11 「回復ドライブの準備ができました」と表示されたら、「完了」をクリックする

12 USBメモリーを取り外す

これで回復ドライブの作成は完了です。

！重要

- 作成した回復ドライブは、紛失・破損しないように大切に保管してください。
 - 回復ドライブを作成したあとは、「回復ドライブ作成の準備」で変更した設定を元に戻し、停止したアプリを起動しなおしてください。特にウイルス対策アプリは、必ず起動してください。
- インフォボードのスクリーンセーバー設定を元に戻すには、インフォボードの右下にある「 (設定)」をクリックし、「スクリーンセーバー設定」の「自動起動を利用する」を「オン」にしてください。

再セットアップメディアを使って再セットアップする

再セットアップメディアでできること

通常、再セットアップはハードディスク内に準備されている専用のデータでおこないます。

ただし、「再セットアップメディアとは」(p.18)で記載したような理由で専用のデータが使用できないこともあります。

このような場合でも、あらかじめ作成しておいた再セットアップメディアがあれば、これを使って再セットアップをおこなうことができます。

また、再セットアップメディアを使って、ハードディスクのデータを消去することもできます。

再セットアップメディアについて  「再セットアップメディアを作成する」(p.18)

● Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

Cドライブの領域サイズを変更できます。変更できるサイズについては、再セットアップ中に表示される画面(Cドライブのサイズを選択する画面)でご確認ください。Cドライブの最大の領域サイズは、ハードディスク全体のサイズになります。

Dドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

！重要

- この方法で再セットアップすると、それまでのハードディスクの内容はCドライブ、Dドライブともにすべて失われます。
- Cドライブのサイズを選択する場合、指定するサイズが小さいと、次回、パソコンを初期状態に戻す際に「PCを初期状態に戻すときに、エラーが発生しました」と表示されて実施できないことがあります。サイズを大きめに指定するようにしてください。
- 再セットアップを始める前に、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。

● おてがるバックアップ(NS150のみ)

「おてがるバックアップ」の「パソコン全体」、「ディスク、またはパーティション」で取ったバックアップデータを使ってハードディスクを復元することができます。

●ハードディスクのデータ消去

ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、復元ツールなどを使ってのデータ復元をされにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄する場合にご利用ください。パソコンの処分について詳しくは、『セットアップマニュアル』の「パソコンの売却、処分、改造について」をご覧ください。消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。

また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

・かんたんモード(1回消去)

ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。

・しっかりモード(3回消去)

米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。

・しっかりモードプラス(3回消去+検証)

米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。「00」、「FF」、ランダムデータの順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

！重要

- この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。
- パソコンの電源を切った状態でバッテリーパックなどの消耗品を外し、必ずACアダプタを接続しておいてください。
- データ消去方式を選択する画面に、お使いのハードディスクの容量と、100Gバイトあたりのデータの消去にかかる目安時間が表示されます。

- ハードディスクのデータを消去する前に、BIOSの設定を初期値に戻してください。手順について詳しくは、『セットアップマニュアル』の「困ったときには」の「BIOSの設定を変更後、Windowsが起動しなくなった」をご覧ください。また、ハードディスクを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。なお、BIOSの初期値を変更していないときは、この操作は不要です。

- ハードディスクのデータを消去中に、停電などの原因でデータ消去が中断された場合は、もう一度やりなおしてください。データ消去が中断された状態では、Windowsを起動しないでください。

再セットアップメディアを使った再セットアップ手順

！重要

- 再セットアップを始めたら、手順どおり最後まで操作してください。中断したときは、最初からやりなおしてください。
- 通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

- 1 作成した再セットアップメディアを用意する
- 2 「再セットアップの準備をおこなう」(p.14)の作業をおこなう
- 3 パソコン本体にACアダプタを接続する
- 4 パソコンに再セットアップメディアをセットする
写真や動画に関するアプリ、「自動再生」画面、「ディスクの書き込み」画面などが表示された場合は、アプリを終了したり、「自動再生」画面や「ディスクの書き込み」画面を閉じてください。
- 5 パソコンを再起動する
- 6 NECロゴ画面が表示されたら、[F2]を何度も押す
BIOSセットアップユーティリティが表示されます。
- 7 [→]、[←]で「Exit」メニューを表示させる

8 【↓】、【↑】で、「Boot Override」欄の再セットアップメディアのデバイス名を選んで【Enter】を押す

通常は「Windows Boot Manager」と手順4でセットした再セットアップメディアのデバイスの2つが表示されます。「Windows Boot Manager」以外のデバイスを選んでください。

NECロゴが表示され、「キーボードレイアウトの選択」の画面が表示されます。

！重要

通常のようにパソコンが起動してしまった場合は、再セットアップメディアのデバイスを選択しなかったことが考えられます。手順5からやりなおしてください。

9 「Microsoft IME」をクリックする

10 「オプションの選択」が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリックする

11 「トラブルシューティング」が表示されたら、「NECリカバリツール」をクリックする

12 「回復ツール」が表示されたら、「Windows 10」をクリックする

「回復ツール」は「NECリカバリツール」と表示される場合があります。

また、回復キーの入力画面が表示された場合は、「このドライブをスキップする」をクリックしてください。

13 「NECリカバリツール」が表示されたら、「再セットアップ」をクリックする

再セットアップが始まります。

14 以降は、画面の指示にしたがって操作する

！重要

- 再セットアップ中はパソコンの電源を切らないでください。電源を切ると、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。
- 再セットアップの方法によっては、次のようなセキュリティチップ(TPM)のクリアについての確認画面が表示される場合があります。画面の指示にしたがって、セキュリティチップをクリアしてください。
なお、この画面が表示されても問題や故障ではありません。

セキュリティチップクリア確認画面の例

※お使いのモデルにより、表示内容は一部異なります。

A configuration change was requested to Clear this computer's TPM (Trusted Platform Module)

WARNING: Clearing erases information stored on the TPM. You will lose all created keys and access to data encrypted by these keys.

Press F12 to Clear the TPM

Press ESC to reject this change request and continue.

この画面例の場合は、【F12】を押すことでセキュリティチップをクリアします。

【Esc】を押してキャンセルすることもできますが、再起動すると、再度この画面が表示される場合がありますので、セキュリティチップをクリアしてください。また、セキュリティチップクリア確認画面が表示されない場合は、セットアップ後にセキュリティチップのクリア(p.17)をおこなうことをおすすめします。

再セットアップが完了すると、「これは法的文書です」の画面が表示されます。再セットアップメディアをパソコンから取り外してください。

「キーボードレイアウトの選択」画面が表示された場合は、再セットアップメディアを取り外してください。その後、【Microsoft IME】を選択し、次に表示される「オプションの選択」画面で「続行」を選択すると、「これは法的文書です」の画面が表示されます。

15 「再セットアップが完了したら」(p.16)以降の説明を参考に、セットアップ、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などをおこなう

「⑥Windowsやウイルス対策アプリなどを最新の状態にする」(p.18)の手順まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

パソコン全体を復元する

「おてがるバックアップ」の「パソコン全体」でバックアップを作成した時点の状態に戻します(NS150のみ)。

！重要

ここで説明している操作をおこなうと、復元されたハードディスクがバックアップを作成した時点の状態に戻ります。バックアップを作成した時点より後に作成されたデータや、変更されたデータは失われます。必要なデータは、この操作の前に個別にバックアップを取ってください。

1

「再セットアップメディアを使った再セットアップ手順」(p.24)の手順12までをおこなう

2

「NECリカバリーツール」が表示されたら、「バックアップ時の状態に戻す」をクリックする

3

「おてがるバックアップ」が起動したことを確認してから次の手順をおこなう

●バックアップデータが外付けハードディスクなどのUSB機器にある場合

- ① 再セットアップメディアを取り外す
- ② バックアップデータを保存したUSB機器を接続する
USB機器が認識されたことを確認してから次の手順へ進んでください。

●バックアップデータをDVD-Rに保存している場合

- ① 再セットアップメディアを取り外す
- ② バックアップデータを保存したディスクの最後のディスクを光学ドライブにセットする
ディスクが認識されるまで10秒程度待ってから次の手順に進んでください。

4

表示された画面で「パソコン全体」を選択して「次へ」をクリックする

以降は画面の指示にしたがって操作してください。

5

「復元が成功しました。」と表示されたら「OK」をクリックする

「バックアップ時の状態に戻す」が表示されます。バックアップデータを保存した媒体を取り外してください。

6

「再起動」をクリックする

パソコンが再起動します。これで復元の作業は完了です。

回復ドライブを使って 初期状態に戻す

ここでは、作成した回復ドライブを使って、パソコンを初期状態に戻す方法を説明しています。

再セットアップの準備をおこなう

再セットアップの前に、「購入時の状態に戻す」の「再セットアップの準備をおこなう」(p.14)の操作をおこなってください。

回復ドライブを使った再セットアップ手順

！重要

- 再セットアップを始めたら、手順どおり最後まで操作してください。中断したときは、最初からやりなおしてください。
- 通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

1

作成した回復ドライブ(USBメモリー)を用意する

2

パソコン本体の電源を切る

3

ACアダプタを接続する

4

回復ドライブをパソコンにセットする

5

パソコン本体の電源を入れ、電源ランプが点灯したら、BIOSセットアップユーティリティが表示されるまで[F2]を何度も押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されず。

6

[→]、[←]で「Exit」メニューを表示する

7 【↓】、【↑】で「Boot Override」欄にある回復ドライブのデバイス名を選んで【Enter】を押す

通常は「Windows Boot Manager」と手順4でセットした回復ドライブのデバイスの2つが表示されます。「Windows Boot Manager」以外のデバイスを選んでください。

パソコンが再起動します。

! 重要

通常のようにパソコンが起動してしまった場合は、回復ドライブのデバイスを選択しなかったことが考えられます。一度、パソコンの電源を切り、手順5からやりなおしてください。

8 「キーボードレイアウトの選択」が表示されたら、「Microsoft IME」をクリックする

9 「オプションの選択」が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリックする

10 「トラブルシューティング」が表示されたら、「ドライブから回復する」をクリックする

11 「ファイルの削除のみ行う」または「ドライブを完全にクリーンアップする」をクリックする

! 重要

通常は「ファイルの削除のみ行う」を選択してください。「ドライブを完全にクリーンアップする」を選択するとセットアップ完了までに非常に長い時間がかかる場合があります。このオプションは装置の売却・譲渡の際にご活用ください。

12 以降は、画面の指示にしたがって操作する

13 「回復」をクリックする

再セットアップが始まります。

! 重要

- 再セットアップ中はパソコンの電源を切らないでください。電源を切ると、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。

- 再セットアップの方法によっては、次のようなセキュリティチップ(TPM)のクリアについての確認画面が表示される場合があります。画面の指示にしたがって、セキュリティチップをクリアしてください。なお、この画面が表示されても問題や故障ではありません。

セキュリティチップクリア確認画面の例

※お使いのモデルにより、表示内容は一部異なります。

A configuration change was requested to Clear this computer's TPM (Trusted Platform Module)

WARNING: Clearing erases information stored on the TPM. You will lose all created keys and access to data encrypted by these keys.

Press F12 to Clear the TPM

Press ESC to reject this change request and continue.

この画面例の場合は、【F12】を押すことでセキュリティチップをクリアします。

【Esc】を押してキャンセルすることもできますが、再起動すると、再度この画面が表示される場合がありますので、セキュリティチップをクリアしてください。また、セキュリティチップクリア確認画面が表示されない場合は、セットアップ後にセキュリティチップのクリア(p.17)をおこなうことをおすすめします。

再セットアップが完了すると、「これは法的文書です」の画面が表示されます。回復ドライブをパソコンから取り外してください。

「キーボードレイアウトの選択」画面が表示された場合は、回復ドライブを取り外してください。

その後、【Microsoft IME】を選択し、次に表示される「オプションの選択」画面で「続行」を選択すると、「これは法的文書です」の画面が表示されます。

14 「再セットアップが完了したら」(p.16) 以降の説明を参考に、セットアップ、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などをおこなう

「⑥Windowsやウイルス対策アプリなどを最新の状態にする」(p.18)の手順まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

第3章 トラブル解決Q&A

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜き、ACアダプタやバッテリーパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。

パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作をまちがえたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばアプリを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」、「取り消し」、「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇この章「トラブル解決Q&A」

◇使用中のアプリや周辺機器のマニュアル

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

Q&A情報やウイルス/セキュリティ情報など、いろいろなサポート情報を見ることができます。

<http://121ware.com/support/>

◇アプリや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのアプリや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口へ電話する

どうしても解決できないときは、サポート窓口にお問い合わせみましょう。トラブルの原因がアプリや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元にお問い合わせます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき

急にマウスが動かなくなったり、画面が反応しなくなったときは、画面の表示などに時間がかかっているか、アプリやWindowsに異常が起きている（フリーズ、ハングアップ）可能性があります。しばらく待っても変わらないときは、次の対処をしてください。

●操作をキャンセルしてもとに戻す

アプリに「元に戻す」、「取り消し」、「キャンセル」などの機能があるときは、使ってみてください。

●異常が起きているアプリを終了させる

通常の方法でアプリを終了できないときは、次の手順で、異常が起きているアプリを終了できます。

！重要

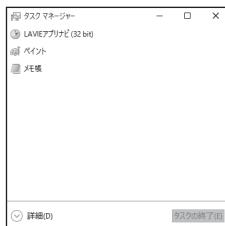
この方法で終了した場合、データは保存できません。

1 キーボードの[Ctrl]と[Alt]を押しながら[Delete]を押す

2 「タスク マネージャー」をクリックする

デスクトップに「タスク マネージャー」が表示されます。

・簡易表示



・詳細表示

名前	CPU	私用メモリ	作業セット	私用バイト
タスク マネージャー	0%	32.0 MB	0 MB	0 MB
explorer.exe	0%	36.8 MB	0 MB	0 MB
タスク マネージャー	0%	11.3 MB	0 MB	0 MB
ペイント	0%	8.3 MB	0 MB	0 MB
メモ帳	0%	2.1 MB	0 MB	0 MB
バックグラウンドプロセス (5)				
System Idle Process	0%	0.0 MB	0 MB	0 MB
System	0%	0.0 MB	0 MB	0 MB
smss.exe	0%	0.0 MB	0 MB	0 MB
svchost.exe	0%	0.0 MB	0 MB	0 MB
Application Frame Host	0%	0.0 MB	0 MB	0 MB
lsass.exe	0%	0.0 MB	0 MB	0 MB

3 「応答なし」と表示されているタスク(アプリ)をクリックして、「タスクの終了」をクリックする

「詳細」画面の場合は、「プロセス」タブにタスク(アプリ)が表示されます。

●Windowsをいったん終了する

次の手順でWindowsをいったん終了(シャットダウン)し、電源を入れなおしてください。問題が解決する場合があります。

1 「[Windows] (スタート)」をクリックする

2 「電源」-「シャットダウン」をクリックする

パソコンの電源が切れて、電源ランプが消灯します。

この方法で電源が切れないときは、次の「Windowsを強制的に終了する」をご覧ください。

Windowsを強制的に終了する

「Windowsをいったん終了する」の手順で電源が切れない場合は、次の手順で強制的に電源を切ることができます。

！重要

- アプリなどで作成し、保存していなかったデータは消えてしまいます。
- この方法で電源を切ることは、パソコンに負担をかけます。ハードディスクへアクセス中におこなうと、パソコンの故障の原因となることもあるため、どうしても電源が切れない場合以外は使用しないでください。
- CDやDVDなどのディスクが光学ドライブに入っている場合、取り出せる状態のときは取り出してから電源を切ってください。取り出さずに電源を切った場合は、次に電源を入れたとき正しく起動しないことがあります。その場合はCDやDVDなどのディスクを取り出した後で、電源を切ってください。
- SDメモリーカードなどのメモリーカードやUSBメモリーがセットされているときは、取り外してから電源を切ってください。

1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける(通常、4秒以上)

この操作を「強制終了」といいます。

2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す

3 Windowsが起動したら、「[Windows] (スタート)」をクリックする

4 「電源」-「シャットダウン」をクリックする

パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう一度4秒以上パソコン本体の電源スイッチを押し続けてください。

それでも症状が改善しない場合は、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

ウイルスの感染が疑われるとき

●「マカフィー リブセーフ」をご使用の場合

「マカフィー リブセーフ」は、インターネット上のクラウド(サーバ)上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスのチェックをおこなうため、インターネットに接続している(インターネット接続のために使っているLANケーブルを取り外さない、また、ワイヤレスLANはオフにしない)状態でウイルスの駆除をおこなってください。

ウイルス対策アプリについて  参照 「LAVIEアシスト」-「マニュアル」-「安心・快適に使う」-「ウイルスからパソコンを守る」

●「マカフィー リブセーフ」以外のウイルス対策アプリをご使用の場合

使用しているウイルス対策アプリによって対処方法が異なる場合があります。詳しくは、各ウイルス対策アプリのマニュアルなどをご覧ください。

対処方法がわからない場合は、LANケーブルを取り外したり、ワイヤレスLAN機能をオフにして、インターネットを含むネットワークからパソコンを切り離すことをおすすめします。

！重要

パソコンの電源は切らないでください。ウイルスによっては症状が悪化することがあります。

コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人にかかわらず、次の届け先に届け出てください。届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)

IPAセキュリティセンター

FAX: 03-5978-7518

E-mail: virus@ipa.go.jp

URL: <http://www.ipa.go.jp/security/>

IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。

(IPA)コンピュータウイルス110番

TEL: 03-5978-7509

Q&A

パソコンのトラブルには、基本ソフトであるWindowsで発生した問題も含まれています。

Windowsの開発元であるマイクロソフト社が、それらの問題の解決策や修正プログラムを、同社のホームページで提供しています。

このマニュアルに記載されている対処方法を試してもトラブルが解決しないときは、次のマイクロソフト社のホームページをご覧ください。

<http://support.microsoft.com/fixit>

パソコンの様子がおかしい

症状	原因	対処方法
煙や異臭、異常な音がする	—	『セットアップマニュアル』の「困ったときには」の「パソコンがおかしいとき」をご覧ください。必要な対処をおこなってください。
手でさわれないほど熱くなっている		
パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた		
ピーッというエラー音がした	ハードディスクの障害の可能性がある	メッセージや症状を書き留め、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。
パソコンを使っているとカリカリと変な音がする	—	パソコンが自動的にデータの保存などの作業をおこなっているため、問題ありません。 あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。
光学ドライブから異音がする	—	ディスクは高速で回転するため、風切り音や振動が発生する場合があります。また、ディスクの種類や読み書きする位置によっては回転数が変わり、風切り音や振動が変化します。どちらも異常ではありません。
	—	スリープ状態、または休止状態から復帰するときに、光学ドライブが初期化動作をおこないます。読み書きをする部分の位置合わせをおこなうため、音がする場合がありますが異常ではありません。
	ディスクを光学ドライブに入れたままにしていた	光学ドライブにディスクを入れたままにしておくと、パソコンの電源をオンにしたときや、スリープ状態、または休止状態から復帰するときに、ディスクが回転し音がする場合がありますが異常ではありません。
	ディスクに汚れや傷が付いている	ディスクに汚れや傷が付いていると、読み込みを繰り返す場合があります。 ディスクを確認し、汚れが付いている場合は、傷をつけないように汚れを拭き取ってください。 傷が付いている場合は、中のデータを傷の付いていない別のディスクにコピーし、傷の付いたディスクは使用しないことをおすすめします。

症状	原因	対処方法
光学ドライブから異音がする	ディスクを正しくセットしていない	ディスクがディスクトレイの軸にしっかりとセットされていない場合、ディスクの破損や振動、音が発生する原因になります。ディスクの表裏に注意してディスクトレイの中央に置き、カチッと音がするまで、ディスクの穴をディスクトレイの軸にしっかりとめ込んでください。
	ディスクにラベルが貼ってある	ディスクにラベルを貼ると、ディスクの回転が不安定になったり、ラベルがはがれ光学ドライブの故障の原因となる場合があります。ディスクにラベルは貼らないでください。
	ディスクが変形している。ディスクが反っている	変形していたり、反っていたりするディスクは使用しないでください。 ディスク自体に問題がある場合は、中のデータを別の正常なディスクにコピーし、問題のあるディスクは使用しないことをおすすめします。
	ディスクの読み書き中にパソコンを移動させた	ディスクの読み書き中は、パソコンを移動させないでください。ディスクや光学ドライブの故障、データ破損の原因となる場合があります。
	上記の対処方法で解決しない場合	あまりにも異常な音がするときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。
ACアダプタから異音がする	—	ACアダプタの仕様によるもので、故障ではありません。 ACアダプタにはAC電源(交流)をDC電源(直流)に変換するトランスや電圧を安定させたりノイズを除去するコンデンサなどの部品が内蔵されており、ACアダプタを使用(バッテリー充電中を含む)すると、これらの部品が振動するため、音が発生する場合があります。 これは、パソコンだけでなく液晶ディスプレイや周辺機器など、ACアダプタを使用しているすべての機器でおこります。
ファンの音が大きい パソコンが熱をもっている	—	『セットアップマニュアル』の「困ったときには」の「パソコンがおかしいとき」をご覧ください。必要な対処をおこなってください。

マウス(添付モデルのみ)、キーボード、NXパッド、タッチパネル (タッチパネルモデルのみ)がおかしいとき

重要

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理をするのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

症状	原因	対処方法
マウス、NXパッドを動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い	—	マウスポインタが●の形に変わっていないか確認してください。 マウスポインタが●の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスやキーボード、NXパッドの操作が受け付けられないことがあります。処理が終わるまで待ってください。
	上記の対処方法で解決しない場合	アプリや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。 「パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき」(p.29)をご覧ください。異常が起きているアプリを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。
Bluetoothマウスが正しく動作しない	マウスのスイッチがOFFになっている	マウスのON/OFFスイッチをONにしてください。 ON/OFFスイッチ  Bluetoothマウス
	パソコン本体から離れたところで操作している	周辺からの電波の影響で通信距離が短くなることもあります。マウスをパソコン本体の正面すぐ近くに置いてみて、操作できるか確認してください。
	周辺からの電波の影響を受けている	次のような状態になっている場合は、電波の影響を受けやすいので避けてください。 ・ パソコン本体が、スチール机やスチール棚のような金属製のものの上に設置してある ・ パソコン本体の前に周辺機器を設置してある ・ このパソコンを複数、隣接して使っている ・ このパソコンに隣接した場所で電気製品を使用している ・ 周囲で2.4GHz帯(2.4～2.4835GHz)を使用する機器(無線LAN、Bluetooth®(ブルートゥース)テクノロジー対応機器、電子レンジなど)を使用している ・ 携帯電話やコードレス電話などで話中

症状	原因	対処方法
Bluetoothマウスが正しく動作しない	マウスの接続設定をしていない、接続設定が消えている	このパソコンではご購入時には接続設定がされていません。また、何らかの原因で接続設定が消えることがあります。『セットアップマニュアル』の「マウスをえるようにする」をご覧ください、マウスの接続設定をおこなってみてください。
	マウスの電池が切れている	『セットアップマニュアル』の「マウスをえるようにする」をご覧ください、電池を新しいものに交換してください。
	機内モードがオンになっている	Bluetoothマウスを使うときは、機内モードがオフになっている（機内モードランプが点灯している）ことを確認してください。
	Bluetooth機能を使わない設定になっている	次の手順で設定を確認してください。 1. 「  （スタート）」-「設定」をクリックする 2. 「デバイス」をクリックする 3. 「Bluetooth」をクリックする 「Bluetooth」がオフになっている場合は、オンにしてください。
	マウスの接続設定時に「Bluetooth デバイスの管理」画面が表示されない、または、設定途中で画面が表示されなくなる	パソコンを再起動してください。「マウス接続設定」が表示されますので、あらためて設定をおこなってください。
	上記の対処方法で解決しない場合	以下の操作をおこなってみてください。 ・ マウスのON/OFFスイッチを切り、10秒程度経ってから再度スイッチをONにする それでも正しく動作しないときは、マウスの故障かパソコン本体のBluetooth機能の故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。
USBマウスが正しく動作しない	正しいコネクタに接続されていない	マウスがUSBコネクタに正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続しなおしてください。

症状	原因	対処方法
マウスが正しく動作しない	—	レーザーマウスの場合 レーザーマウスは、反射しやすいもの(鏡、透明なガラスなど)の上では、正しく動作しない(操作どおりにマウスポインタが動かない)場合があります。 操作どおりにマウスポインタが動かないときは、レーザーマウスに対応したマウスパッドなどの上で操作してください。 光センサー式マウスの場合 光センサー式マウスは、反射しやすいもの(鏡、透明なガラスなど)、光沢のある白い面などの上では、正しく動作しない(操作どおりにマウスポインタが動かない)場合があります。 操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光センサー式マウスに対応したマウスパッドなどの上で操作してください。
NXパッドが正しく動作しない	指先やNXパッドが汚れている	水分や油分などの汚れをふき取ってから操作してください。
	NXパッドの2か所以上に同時に触れている	マルチタッチ・ジェスチャーでの操作以外では、NXパッドの1か所だけに触れるようにしてください。
	NXパッドが無効になっている	【Fn】を押しながら【スペース】を押してNXパッドの有効/無効を切り換えてください。
マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった	—	キーボードだけでなく、パソコン内部に飲み物が入ると、パソコンの故障の原因になります。すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。 ！重要 ● ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードやパソコンが故障することがあります。 ● パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になりますのでご注意ください。
タッチパネルによる操作ができない、反応が悪い(タッチパネルモデルのみ)	—	アプリの処理に時間がかかっている場合は、タッチパネルからの操作を受け付けられないことがあります。処理が終わるまで待ってください。
	上記の対処方法で解決しない場合	アプリや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。 「パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき」(p.29)をご覧ください。異常が起きているアプリを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

電源／バッテリーのトラブルがおきたとき

症状	原因	対処方法
電源スイッチを押しても電源が入らない	バッテリーパックやACアダプタが正しく接続されていない	『セットアップマニュアル』をご覧ください。バッテリーパックやACアダプタの接続状態を確認してください。
	ACアダプタを接続していない状態でバッテリー容量が不足している	ACアダプタを接続して使うか、バッテリーを充電してから使ってください。ACアダプタを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。
	パソコン本体が帯電している	『セットアップマニュアル』の「困ったときには」の「電源について」をご覧ください。必要な対処をおこなってください。
電源が切れない 強制的に電源を切りたい	—	「Windowsを強制的に終了する」(p.29)をご覧ください。
パソコンの電源が勝手に入ってしまう	—	次の場合にパソコンが自動起動したり、再起動したりすることがあります。 ・インターネットからWindowsのモジュール(ドライバやアプリなどの更新プログラム)をダウンロードしてアップデートするとき ・NS150で「おてがるバックアップ」で、バックアップのスケジュール設定をしているとき
パソコンの電源が勝手に切れる	—	このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。省電力機能の設定を確認してください。この場合は、電源が切れたわけではありません。 省電力機能について  「LAVIEアシスト」-「マニュアル」-「機能を知る」-「省電力機能」-「省電力機能について」
電源スイッチを入れたら、いつもと違う画面が表示された	CD-ROMなどのディスク、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされている	CD-ROMなどのディスク、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れなおしてください。

症状	原因	対処方法
バッテリーの駆動時間が短くなった フル充電できない	—	次の手順で「バッテリー・リフレッシュ & 診断ツール」を使ってバッテリーの劣化確認をおこなってください。 1. パソコンにACアダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む 2.  (スタート) をクリックする スタートメニューが表示されます。 3. 「すべてのアプリ」-「バッテリー・リフレッシュ & 診断ツール」-「バッテリー・リフレッシュ & 診断ツール」をクリックする 「バッテリー・リフレッシュ & 診断ツール」についての説明の画面が表示されます。バッテリーのリフレッシュおよび診断を開始する前に注意事項を確認してください。 4. 「次へ」をクリックする 5. 「開始」をクリックする 6. 「はい」をクリックする バッテリーのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックし、確認画面で「はい」をクリックしてください。 7. 診断結果を確認する 「バッテリー状態」が「劣化」と表示された場合には、お早めにバッテリー交換をおすすめします。「警告」と表示されたときは、バッテリーを交換してください。 ！重要 ● バッテリーリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。 ● バッテリーリフレッシュおよび診断中にACアダプタやバッテリーパックを取り外すと、バッテリーのリフレッシュが中止されます。 ● バッテリーが「警告」状態になった場合は充電やバッテリーリフレッシュをすることができません。 ・ お使いの機種で利用できるバッテリーパックについては、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」の「サービス & サポート」(http://121ware.com/support/)の「商品情報検索」で確認できます。 ・ バッテリーパックのご購入については、本体を購入された販売店、またはNECのWeb購入サイト「NEC Direct」(http://www.necedirect.jp/)にお問い合わせください。 使用済みバッテリーパックのリサイクルについて  参照 「LAVIEアシスト」-「マニュアル」-「機能を知る」-「バッテリー」-「バッテリーパックのリサイクルについて」
BIOSの設定を変更後、Windowsが起動しなくなった	—	『セットアップマニュアル』の「困ったときには」の「BIOSの設定を変更後、Windowsが起動しなくなった」をご覧ください。のうえ、必要な対処をおこなってください。

症状	原因	対処方法
省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない	省電力機能(スリープ状態／休止状態)に対応していないアプリや周辺機器を使用している	対応していないアプリや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。
	電源スイッチを4秒以上押ししてしまった	電源スイッチを4秒以上押し続けた場合、強制的に電源が切れます。電源スイッチを押して、パソコンの電源を入れてください。 なお、強制的に電源が切れ、保持(記録)した内容が消えてしまう場合があります。
	休止状態の間に、周辺機器などの接続を変更した	『セットアップマニュアル』の「困ったときには」の「電源について」をご覧ください。必要な対処をおこなってください。
	CD-ROMなどのディスクがセットされている	パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けて電源を強制的に切った後、電源を入れなおしてください。省電力状態にする場合は、CD-ROMを取り出してから省電力状態にしてください。 なお、この方法で電源を切ると、保持(記録)したデータが消えてしまう場合があります。
	Cドライブの空き容量が少なくなって、ハイブリッドスリープがオフになっている	ドライブの空き容量が少なくなると、ご購入時の設定ではオンになっているハイブリッドスリープが自動的にオフになることがあります。 ハイブリッドスリープがオフになっていると、バッテリーの残量がごくわずかのとき、スリープ状態になる前の状態が失われます。 次の手順でハイブリッドスリープがオンになっているか確認してください。 1. 「  (スタート)」を右クリックする 2. 「コントロール パネル」をクリックする 3. 「システムとセキュリティ」-「電源オプション」-「プラン 設定の変更」-「詳細な電源設定の変更」をクリックする 表示された画面で「スリープ」-「ハイブリッド スリープを許可する」がオンになっているか確認してください。 ハイブリッドスリープの設定について  参照 「LAVIEアシスト」-「マニュアル」-「機能を知る」-「省電力機能」-「省電力機能について」
	Windowsの終了中に液晶ディスプレイを閉じた	このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。
	Windowsの終了中に省電力状態にした	
	Windowsの終了中に電源を切った	
	バッテリーの残量が少なくなっている	ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

省電力状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

- ・ 省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にCD-ROMなどを入れ替えたとき
- ・ 省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
- ・ 省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

- ・ プリンタへ出力中のとき
- ・ サウンド機能により音声を再生しているとき
- ・ ハードディスクを読み書き中のとき
- ・ CD-ROMなどを読み取り中のとき
- ・ 省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

症状	原因	対処方法
シャットダウン時にエラーメッセージが表示される	シャットダウン前に操作していたアプリの終了が、システムのシャットダウンより時間がかかっている	メッセージが出るがすぐに消えて、シャットダウンが正常に終わる(その後、パソコンが正しく起動できる)場合は、特に問題ありません。 シャットダウンができない(エラーメッセージが表示されたままになる)場合は、「Windowsを強制的に終了する」(p.29)の手順で電源を切ってください。

使用中に画面に何も表示されなくなったとき

症状	原因	対処方法
ディスプレイ(画面)に何も表示されない	ディスプレイが省電力状態になっている	『セットアップマニュアル』の「困ったときには」の「電源について」をご覧くださいのうえ、必要な対処をおこなってください。
	パソコン本体が省電力状態になっている	
	外部ディスプレイにのみ表示する設定になっている	
	—	省電力状態から正常に復帰できないときは、「省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない」(p.38)をご覧ください。
	ディスプレイの輝度(明るさ)が低くなっている	【Fn】+【F8】、【Fn】+【F9】で画面の輝度(明るさ)を調節してください。 【Fn】+【F8】を押すと、液晶ディスプレイが暗くなります。 【Fn】+【F9】を押すと、液晶ディスプレイが明るくなります。 なお、電源プランを「ECO」に切り換えたり、一定時間操作しないと画面は暗くなります。

メッセージが表示されたとき

症状	原因	対処方法
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された	—	サインインしているユーザー アカウントの種類により対応が異なります。 管理者の場合 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「はい」をクリックしてよいかどうか判断してください。不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたとき、「いいえ」をクリックすることで被害を防げることがあります。 標準の場合 「標準」のユーザー アカウントでパソコンを使用しているときは、「ユーザー アカウント制御」画面で「管理者」のユーザーのパスワードを入力する必要があります。

パスワードのトラブルがおきたとき

症状	原因	対処方法
パスワードがまちがっているというメッセージが表示される Windowsのパスワードを忘れた BIOSパスワード (User Password、Supervisor Password) を忘れた	—	『セットアップマニュアル』の「困ったときには」の「パスワードについて」をご覧ください。必要な対処をおこなってください。
ハードディスクのパスワードを忘れた	—	NECサポート窓口(121コンタクトセンター)では、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、また、ハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードを忘れないよう、十分注意してください。

その他のトラブル

症状	原因	対処方法
光学ドライブからディスクを取り出せなくなった	DVDやCDの再生中または書き込み中	DVDやCDを再生中の場合は停止させてください。ディスクに書き込み中の場合は、書き込みが終了してからディスクを取り出してください。
	電源が入っていない	電源を入れてからディスクを取り出してください。
	—	画面の操作で取り出しをしてみてください。 1. 「  (スタート)」-「すべてのアプリ」をクリックする 2. 「Windows システム ツール」の「PC」をクリックする 3. 光学ドライブのアイコンを右クリックして「取り出し」をクリックする
	—	いったんパソコンの電源を切り、もう一度電源を入れてください。パソコンが起動してから、イジェクトボタンを押してください。
	上記の対処方法で解決しない場合	パソコンの電源が入っているにもかかわらず、光学ドライブの故障などが原因でディスクを取り出せなくなったときは、次の手順で非常時ディスク取り出し穴を使ってディスクを取り出してください。 1. パソコン本体の電源を切る 2. ディスクトレイの非常時ディスク取り出し穴(直径2mm程度の穴)に、クリップの先などを差し込む 強く押し込むとディスクトレイが5～15mmほど飛び出します。 3. ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す
パソコンを落とした	—	電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリーパックを取り外してください。パソコンが故障している可能性があります。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。
HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビなどでDVDや動画がなめらかに再生できない	リフレッシュレートまたは画面解像度の設定が適切ではない	リフレッシュレートを上げるか、または画面解像度を下げてください。  参照 「LAVIEアシスト」-「マニュアル」-「機能を知る」-「ディスプレイ・画面の表示機能」-「解像度を設定する」
再セットアップ画面が表示できない	—	再セットアップメディアを使って再セットアップしてください。再セットアップ方法は、「再セットアップメディアを使って再セットアップする」(p.23)をご覧ください。再セットアップメディアは作成する必要があります(p.18)。
カメラの画像に蛍光灯などの光が映り込む	カメラが光源に向いている	カメラが蛍光灯などの強い光源に向いていると、ディスプレイのガラスで反射した光源が映像に映り込む場合があります。 カメラが光源を向かないように、パソコンの向きやディスプレイの角度を調節してください。

症状	原因	対処方法
スクリーンセーバーが動かない	インフォボードが有効になっている	インフォボードの「スクリーンセーバー設定」が有効になっている場合は、Windowsのスクリーンセーバーの設定を変更しても、設定の変更は反映されず、スクリーンセーバーは動きません。 Windowsのスクリーンセーバーを使う場合は、インフォボードの機能を無効にしてください。  参照 「LAVIEアプリナビ」-「名前からアプリを探す」-「あ行」-「インフォボード」
「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」が正常に動作しない 「LAVIEかんたん設定」の「電源・省電力」が正常に動作しない ECOボタンが正常に動作しない	—	次の手順で設定を更新してください。  重要 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。 ●「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」の場合 1. 「 (スタート)」-「エクスプローラー」をクリックする 2. エクスプローラーで「PC」-「Windows(C):」をクリックし、「Program Files」-「NECBatt」をダブルクリックして、「C:\Program Files\NECBatt」フォルダを表示する 3. 「instnbw」または「instnbw.exe」をダブルクリックする 4. パソコンを再起動する ●「LAVIEかんたん設定」の「電源・省電力」の場合、またはECOボタンの場合 1. 「 (スタート)」-「エクスプローラー」をクリックする 2. エクスプローラーで「PC」-「Windows(C):」をクリックし、「Program Files」-「NECPC」-「LAVIEEasySettingsDP」-「EcoMode」をダブルクリックして、「C:\Program Files\NECPC\LAVIEEasySettingsDP\EcoMode」フォルダを表示する 3. 「instPmcW」または「instPmcW.exe」をダブルクリックする 4. パソコンを再起動する
再セットアップできない	ハードディスクの空き領域が不足している	ハードディスクの空き領域が不足していると、再セットアップができない場合があります。そのような場合は、次のようなことをおこない、ハードディスクの空き領域を増やしてください。 ・ 不要なデータを削除する ・ 不要なアプリをアンインストールする ・ 「ごみ箱」にファイルが残っている場合は、「ごみ箱」を空にする ・ 必要なデータを外部メディアにバックアップし、パソコンからは削除する また、再セットアップメディアを作成していない場合は、再セットアップメディアを作成することで(p.18)、ハードディスクの空き領域を増やすことができます。

パソコンのお手入れ

準備するもの

軽い汚れのとき



乾いたきれいな布

汚れがひどいとき



水かぬるま湯を含ませて、よくしぼった布

お手入れをするときのご注意

- ・可燃性のエアダスターは使用しないでください。発火・火災の原因となることがあります。
- ・シンナーやベンジンなど、揮発性の有機溶剤は使わないでください。これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。
- ・水かぬるま湯を含ませた布は必ずよくしぼり、パソコン本体、キーボード、マウス(添付モデルのみ)の汚れをふき取る際に水が入らないよう十分注意してください。
- ・水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
- ・お手入れの前に『セットアップマニュアル』の「バッテリーパック」-「バッテリーパックを取り外す」の手順でパソコンの電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取り外してください。電源を切らなかったり、ACアダプタやバッテリーが取り付けられたままでお手入れを始めると、感電することがあります。

パソコン各部の清掃のしかた

●パソコン本体

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

●液晶ディスプレイ

やわらかい素材の乾いた布でふいてください。化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。

●電源コード/ACアダプタ

電源コードのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまる場合があります。定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

●マウス(添付モデルのみ)

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

マウスの底面のセンサーは、ほこりなどが付着して、マウスの移動を正しく読み取れなくなることがあります。

その場合は、市販されている光学式マウス専用クリーナーを利用するか、エアブラシなどを使って、ほこりを取り除いてください。

●キーボード

やわらかいきれいな布で軽くふいてください。ほこりなどの付いた汚れた布で強くふいた場合、キーボード表面に傷が付くおそれがあります。

！重要

- キーボードの清掃には、掃除機を使用しないでください。キートップが外れるおそれがあります。キーのすきまにゴミなどが入ったときは、精密機器専用のエアダスター(不燃性のもの)などで取り除いてください。
- キートップを故意に取り外すこともやめてください。キートップをもとに戻せなくなったり、キートップやキーボードが破損し、本装置の故障や機能低下の原因となることがあります。

●通風孔

通風孔のお手入れの際は、パソコンのふたを閉じた状態で掃除機などを使って本体の外側からほこりを取り除いてください。ほこりの付着がひどい場合には、ハケや綿棒、使用済み歯ブラシなどを使って、ほこりをかき出しながら掃除機で吸引するときれいに掃除することができます。

通風孔は、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。

初版 2016年9月
NEC
853-811190-148-A

 LAVIE
Note Standard (NS150, NS100)
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルコンピュータ株式会社
〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX